

令和 6 年 10 月 4 日

(仮称) 野辺地風力発電事業更新計画環境影響評価準備書に対する
環境の保全の見地からの知事意見

1. 総論

(1) 事業計画の検討等

現在、県が検討を進めている「青森県自然・地域と再生可能エネルギーとの共生制度」では、自然環境、景観、歴史、文化等を保全すべき地域を指定（ゾーニング）することとしていることから、同制度の議論を踏まえて今後の事業計画を検討すること。

環境影響評価の結果を事業計画に適切に反映させるとともに、環境保全措置及び事後調査を確実に実施し、対象事業実施区域及びその周辺の自然環境及び生活環境に対する影響を回避又は極力低減すること。

(2) 事後調査等

事後調査及び環境監視を適切に実施し、その結果を踏まえ、必要に応じて、追加的な環境保全措置を講ずること。また、当該措置の具体化に当たっては、措置の内容が十分なものとなるよう、それまでの調査結果及び専門家等の助言を踏まえて、客観的かつ科学的に検討すること。

(3) 地域住民等への説明等

対象事業実施区域及びその周辺における関係法令等による規制状況を踏まえて、関係機関等との調整を十分に行うとともに、現在、検討を進めている「青森県自然・地域と再生可能エネルギーとの共生制度」の合意形成手続等を通じて、地域住民等に対し丁寧かつ十分な説明や意見交換を行うこと。

2. 各論

(1) 水環境

水の濁りについて、沈砂池からの排水は河川等まで到達しないと予測しているが、沈砂池T-4-1やR-5-1等では河川等までの斜面長と濁水到達推定距離との差が小さく、現地の状況によっては沈砂池からの排水が河川等に到達するおそれがあることから、工事中に調査を行い、必要に応じて適切な対策を講ずること。

(2) 風車の影

風車の影について、累積的な影響の予測結果が全地点において参照値である年間8時間を超過していることから、環境監視を確実に行うとともに、周辺住民の生活に影響があると認められる場合には、対象の住民と協議の上、必要な環境保全措置を講ずること。

(3) 動物

ア コウモリ類について、音声モニタリング調査の結果、BM3地点（風況観測塔の高さ50m）では、カットイン風速（3m/s）以上の風速時においてもコウモリ目（10～30kHz）の確認回数が多く、当該コウモリ目にバットストライクの発生する可能性が高いことから、当該調査結果を踏まえて、適切な環境保全措置を検討すること。

イ 既存施設における死骸調査において、コウモリ類については全6個体がいずれもバットストライクの可能性が高いとされ、鳥類については34個体のうち6個体がバードストライクの可能性が高い又は可能性があるとされていることから、当該調査結果を踏まえ、風力発電設備の配置の見直しや施設の稼働制限を行う等の適切な環境保全措置を検討すること。

ウ ガン類等の渡り鳥について、全般的に年間予測衝突数は少ないと予測しているが、渡りの高度は天候に左右され、高度Mで飛翔した場合、当該衝突数が増加することから、必要に応じて渡りの時期に施設の稼働制限を行う等の適切な環境保全措置を検討すること。

エ オオハクチョウ等のハクチョウ類について、新設1～5号機付近を高度L及びMで飛翔しており、飛び始め、着陸体勢、水辺から水辺への飛翔時はこれらの風力発電設備を回避することが難しいと考えられることから、当該設備の配置の見直しや渡りの時期に施設の稼働制限を行う等の適切な環境保全措置を検討すること。

オ オジロワシについて、他の希少猛禽類と比較して年間予測衝突数が多いことから、風力発電設備の配置の見直しや本種の活動が活発な時期に施設の稼働制限を行う等の適切な環境保全措置を検討すること。

(4) 植物

ヒロハノカワラサイコについて、改変による生育環境の減少・喪失による影響を低減するための代償措置として改変区域内で確認された個体を移植するとしているが、現地調査で確認された159株のうち104株が改変区域内で確認されていることから、安易に代償措置を講ずるのではなく、本種の生育地を同区域から除外することを最優先に検討すること。

(5) 生態系

ノスリについて、以下の理由により繁殖の阻害やバードストライクの発生する可能性が高いこと、及び本種は生態系の上位性注目種であり、本種への影響は生態系全体に影響を及ぼすおそれがあることから、適切な環境保全措置を検討すること。また、希少猛禽類に係る事後調査では、本種の生息状況調査に加え、繁殖調査を併せて実施すること。

ア 対象事業実施区域内の2か所で営巣が確認されている。

イ これら営巣地に挟まれた新設2～4号機付近は、良好な採餌環境であり、繁殖期には活発な活動が確認されている。

ウ 既存施設における死骸調査の結果、新設4号機の近傍に位置する既設T14付近で、バードストライクの可能性がある個体が確認されている。